

授業科目名(クラス名)		LITE120-07 文学 (英語授業)							
設置学年	1	単位数	2	学期	2017年度 後期	授業区分	週間授業	曜日時限	水曜1限
担当教員名		佐藤 マサ子							
授業概要									
授業のテーマ		日本の文学作品の中に「橋」はどのように描かれているのか?—について、 ①古代から近現代までを辿る—と共に、 ②「文学」が他のMediaにどのようにTransferされているのか— 以上の諸点を、具体的作品に基づいて考察する。							
到達目標		①文字や文章で織り上げられた「文学」は、それぞれの時代を映す「鏡」の役割を果たしてきた。 ②「橋」が文学の中にどのように描かれているのか?をとおして「橋」の歴史的事実や本質的な意味とともに、文学的表現方法である「モチーフ」や「メタファー」としての「橋」、及び「他のメディアへの転移」について考察する。 ③以上を基に「文学」の意味について考察する。							
授業の方法		文学に描き出された「橋」について、以下の観点からを考察する。 ①日本文学史の流れに添って、神話や伝説・歌謡や和歌・各種物語・戯曲・小説を具体的な作品を基に考察する。 ②歴史的事実としての「橋」と「橋の文学的意味」を考察する。随時、ヨーロッパの神話伝説や文学作品との比較も加える。 ③以上①②の為に、「橋を主題にした文学」が他のメディアに転移した場合について、映像資料を用いて考察する。 ④日本には優れた古典文学の伝統がある。古典作品を扱う上で必要な基礎的手続きについても、随時紹介する。							
授業計画		<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業の概要と基本方針の説明、成績評価方法に関する説明</li> <li>2) 「橋」とは何か? 語源学と神話から探る「橋」</li> </ol> </li> <li>●第2回           歴史から見た「橋」(「宇治川断碑」その他歴史史料に探る水路と街道と「橋」の意味)         </li> <li>●第3回           『万葉集』に描かれた「橋」 ①高橋連虫麻呂歌集の「河内の大橋」の歌/②「東歌」に詠まれた「橋」         </li> <li>●第4回           『伊勢物語』と「八橋」         </li> <li>●第5回           「橋姫」を巡る物語(1)—ヨーロッパの「悪魔と橋」伝説との比較から—         </li> <li>●第6回           「橋姫」を巡る物語(2)—『源氏物語』における「橋のメタファー」(「宇治十帖」の「橋姫」と「夢の浮橋」を中心に)—         </li> <li>●第7回           中世における「橋のイメージ」能(謡曲)「船橋」と「石橋」にみる宗教的メタファーの意味するもの         </li> <li>●第8回           中世和歌にみる「橋のメタファー」(解説=①中世和歌の特質②中世的な心象表現の特色)         </li> <li>●第9回           戦記にみる「橋」と戦略・戦術(解説=①戦記とは何か?②記述の特色)         </li> </ul>							

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第10回 「太平の世」と「橋」—江戸の「橋」—</li> <li>●第11回 日本の叙情からJaponismeへ—ヨーロッパJaponismeと「日本の橋」—</li> <li>●第12回 近松門左衛門作の戯曲（人形浄瑠璃）『心中天の網島』と三島由紀夫『橋づくし』（解説＝前近代文学を近代文学はどのように継承したのか？）</li> <li>●第13回 第二次世界大戦を描いた映画における「橋」について：Bernhard Wicki監督の映画『Die Brücke』（The Bridge）を中心に：映画『Die Brücke』（DVD）の鑑賞</li> <li>●第14回 映画『Die Brücke』（DVD）の鑑賞</li> <li>●第15回 全体のまとめ：日本文学における「橋」とそのメタファーの意味するもの</li> </ul>
履修条件	<p>「文学」は時代の政治や社会を「文章」によって、しかし、さまざまな手法を駆使して描き出している。したがって、文学作品を通して、それぞれの時代の実状を知りたいという意欲が最も重要である。</p> <p>今日の大衆文化（漫画やアニメ・コンピューターゲームやポップミュージック等）は、古典と無縁ではない。どのように関係があるのか？ 解明しようとする意欲を期待している。</p>
成績評価基準	授業への出席(参加状況=50%)とレポートの成績(50%)とを総合して評価する。
準備学習の具体的な内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指示された予習（作品を読むなど）を必ず行なうこと</li> <li>2. 広く文化現象に関心を持つこと</li> <li>3. 漫画やアニメ等ポップカルチャーの知識を記憶の中から呼び起こしておくこと</li> </ol>

Syllabus Name		LITE120-07 文学（英語授業）							
Year	1	Credit	2	Semester	2017年度 後期	Class Type	週間授業	Day / Period	水曜1限
Teacher's Name		佐藤 マサ子							
Outline									
Overall Theme of Course									
Attainment Target (Goals)									
Content									
Teaching Plan									
Prerequisites									